

橋本佳明

2005年度の主な活動	活動内容	成果物など
ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム推進支援（2005年4月1日から2006年3月31日）	各種セミナー、研修、出版等の企画運営と、研究・教育への指導助言を行うとともに、プログラムの進行管理、評価、活動計画案作成等を支援した。	ワークショップ実施（24回） ナー実施（8回）、出版物
長期的生物調査拠点作り（2005年4月1日から2006年3月31日）	クロッカ-山に6カ所の永久調査区設立地点を策定し、3カ所の調査区を設営した（イノボン、ケニンガウ、マフア）。さらに、モニタリングや調査手法等についてのワークショップを実施した。	永久調査林の管理マニュアル 調査区3カ所設置
マルチメディアデータベースの構築（2005年4月1日から2006年3月31日）	サバ州における生物多様性情報のデータベース化の支援を行った。	1万7千点の生物標本情報 ベース化、生物多様性情報 ためのホームページを開設 ベース管理・活用マニュアル 講習会実施
サバ大学研修生の受け入れ（2005年4月1日から2006年3月31日）	Idris Said（サバ大学講師）の植物分類学、標本管理に関するカウンターパート研修等を実施した。	4名のJICA研修生へのトレー
アジア地域の他研究機関とのネットワーク構築（2005年11月）	マレーシア国立マラヤ大学においてアジア8カ国の研究機関からの参加者を対象にアリ類パラタクソノミスト・トレーニングコースを実施した	ワークショップ（50名参加） 標本交換、共同研究の計画
マレーシア国立博物館で生物多様性保全に関する展示実施（2005年11月）	マレーシア国首都にある博物館で、初めての自然史に関する展示を実施し、さらに、展示会終了後マレーシア国各州で巡回展を実施した。	展示用パネル、アリ拡大模 用標本セット整備等
調査研究「アリとアリグモの共生系の解明」（2005年9月、2006年2月）	文科省科学研究費「アリとアリグモの共生系の解明」の研究代表者として、サバ大学と共生生物学研究を実施。	日本昆虫学会で成果公表、 Sciobiology誌に成果を出刊
第8回ボルネオジャングル体験スクール実施	県内の小学校6年生から高校2年生までの男女合わせて18名が参加した第8回体験スクールをマレーシアサバ州ダヌムバレー自然保護区で実施した。	ジャングルスクール成果報 験発表会等
NHKテレビ番組「未来への航海」の制作協力（2005年4月から8月）	NHK、ABU(アジア太平洋放送連合)、サバ大学、マレーシア国立放送と共同で、アジア各国からの中学生を対象にした熱帯林保全に関する環境教育プログラムをサバ州で実施。	テレビ番組「未来への航海」 として出演し、国内および 国6カ国で放送された。